

PCR検査の抜本的拡大を！ 各自治体で申入れ＆署名始まる



新型コロナウイルス感染症対策本部
本部長 日進市長 近藤裕貴 様

2020年8月6日

日本共産党日進市議団
坂林たくみ
ごとうみき

日進市

PCR 等検査拡充を求める申し入れ

新型コロナウイルス感染症への対応に、連日ご尽力されていることに敬意を表します。

本日、愛知県も独自の緊急事態宣言を出すなど、感染者が再び広がる事態に市民が不安を募らせています。日進市でも拡大し、名古屋市では感染震源地（エビセンター）の発生が懸念される状況です。

感染拡大、医療崩壊を防ぐために大規模検査による早期発見、病状に応じた隔離・治療の体制をつくることが緊急に求められています。

東京・世田谷区はPCR検査の1桁拡大を目標に「いつでも、だれでも、何度でも」検査できる体制づくりをめざしています。

日進市として緊急に責任をもって以下のことに取り組まれるよう申し入れます。

記

1. PCR等大量検査を行うこと。
2. 感染者数だけでなく、PCR等検査数、陽性率など、感染情報の開示を県に求め、市民に公表すること。
3. 医療機関、介護・福祉施設、保育園、学校など、集団感染のリスクが高い施設では、職員や出入り業者については定期的に、利用者全体については必要に応じてPCR等検査を行うこと。
4. 無症状・軽症の陽性者を隔離・保護する宿泊療養施設を確保すること。やむなく自宅待機を余儀なくされる市民には、生活物資を届け、体調管理する体制をつくること。
5. 保健センターがPCR等検査の拡充に必要なことについて保健所・県と連携すること。必要な体制強化をすること。

〇〇市長 〇〇〇〇様（署名・要請の例です）

誰もが安心して生活できる街をつくるためにPCR検査センターの設置を求める署名

愛知県内の新型コロナウイルスの感染拡大が過去最多を更新しています。特に名古屋市の感染拡大はきわめて憂慮する事態であり、〇〇市への影響も懸念されます。

各地域での感染の拡大を抑止するためには、PCR等検査を大規模にくりかえし実施することで、無症状の人も含めた「感染力」のある人を保護・隔離する以外にありません。

東京都世田谷区では「誰でもいつでも何度でも」検査できる「世田谷モデル」として、1日2000件～3000件の検査体制をつくる検討をはじめています。このモデルは、区民とともに医療や介護、保育関係など集団感染によるリスクが高い施設で働く人たちも定期的に検査することも想定しています。

感染拡大をふせぎ住民の皆さんが安心して生活できる街をつくるために以下要望します。

記

1. 〇〇市としてPCR検査センターを設置し、抜本的に検査数を増やすこと
2. 感染拡大をふせぐために必要な情報を公開するよう愛知県に対し要請すること



愛知県は8月6日、県全域を対象に緊急事態宣言を発表しました。8月24日（月）までの19日間です。

主な要請事項は、① 不要不急の行動自粛・行動の変容 ② 県をまたぐ不要不急の移動自粛 ③ 感染防止対策の徹底 〇名古屋市中区の栄・錦地区で接待を伴う飲食店等への営業時間の短縮等を要請、などです。

緊急事態宣言を出すのなら、自粛の呼びかけだけでなく必要な検査と医療体制の確立こそ急務。

各自治体での申入れ活動が始まっています。シンプルに、素早く、申入れを行いましょう！

**2020年度愛知県党
夏期地方議員研修会**
〇8月18日（火）10時～5時
〇労働会館東館2階ホール



扶桑町長 鯖瀬 武 様

扶桑町

2020年8月7日
日本共産党扶桑町議会議員

高木 義道
荒木 孝三

今、県内で新型コロナウイルス感染症の感染者が急増しています。扶桑町でも例外なく増加しつつあります。

住民のみなさんの多くは不安感を抱いているのではないかと思います。ここに町長に対して申入れを行います。

新型コロナウイルス感染症対策についての要望

1. 江南市・犬山市・大口町そして扶桑町の2市2町が共同して、尾北医師会にPCR検査の推進・拡大について 申入れを行う。
2. 2市2町で保護施設の確保、自宅療養セット等の感染症対策の整備を行う。
3. 住民のみなさんに、感染状況の適切な情報提供を行う。

以上